



# 広報 **えびな**

編集・発行

海老名市役所 市長室

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎(046)231-2111 / ㊚(046)233-9118

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

\*この広報は再生紙を使用しています。

## モデル地区の現場から ～ごみ集積所から分別作業まで～



東柏ヶ谷2丁目付近でのごみ収集



ごみ袋をあけて、手作業で分別する職員。ミックスパーの混入が目立ちます。



左が資源物、右が可燃ごみ

分別すると

# 可燃ごみを減量中！

## 東柏ヶ谷でモデル実験

市では、可燃ごみの組成分析を行い、収集体制を見直しています。組成分析は、可燃ごみの日に、ごみに含まれる資源物の混入率を分析するもので、市内の可燃ごみを調査した結果、約70%程度の資源物が含まれていました。このことから市では、可燃ごみ減量の一環として、今年2月から東柏ヶ谷地域をモデル地区に指定し、同地域のみなさんの協力を得て、ごみと資源の収集日を変更し、効果的な資源回収を試行しています。今回は、その現況をお知らせします。

### モデル事業 内容と現状

モデル地区の東柏ヶ谷地

域では、今まで月2回だった『紙・布・ペットボトルの日』と『紙・布の日』と『ペットボトルの日』に分けて、毎週収集にしました。また

週3回あった『燃えるごみ』の日を週2回に変更しました。なお、新たに祝日の収集を行うようになりました。この収集日の変更は、資

源収集の回数を増やし、焼却ごみの回数を減らすことで、今まで可燃ごみと混ぜて処理されていた資源物を、より出しやすい収集体制にしたものです。

変更当初は、分別方法に多少戸惑った地域のみならず、回を重ねることに慣れてきたようで、「今まではリサイクルできる紙類などの資源物まで、無意識に『燃えるごみ』で出していました。が、きちんと分別してみると、『燃えるごみ』は、小

### 資源物の混入 41%まで減少

さなレジ袋で一袋分くらいにしかならなかったのにはビックリ」という市民の声も。

試行の成果を調べるため、市では、集積所から収集したごみの組成分析を行っています。分別作業を行っている市職員は

「まだすべての調査結果は出ていないが、それでも目に見えて資源物の混入が減ってきています。みなさんの分別に対する意識と心掛けのたまものです」と話しています。

## 生ごみ処理機の 購入助成を行っています

- 電動式… $\frac{1}{2}$ (4万円が限度)
- 堆肥式… $\frac{2}{3}$ (3,000円が限度)

市では、生ごみ処理機の入費助成を実施しています。堆肥式から電動式まで、さまざまな種類の購入に対し、補助を行っています。

電動式の場合、補助金額は購入金額の2分の1で、4万円が限度、一方堆肥式の場合は、購入金額の3分の2で、3000円が限度となっています。補助条件がありますので、詳しくは、資源対策課へお問い合わせください。

## 簡単にできる分別方法

分別の一例を紹介します。各家庭で、ごみが出やすい場所は、主に台所と居間だと思います。台所では、限られたスペースをうまく利用し、分別をしましょう。写真。また居間などでは、『燃えるごみ』入れとは別に、お菓子の箱や袋を入られる場所をつくりましょう。分別された生ごみは、水をきり小さくし、『燃えるごみ』の中心に入れて出すと、おいがは出にくいようです。ごみ箱に一度入れてしまつと、そこから分別するのはひと苦労です。混ぜる前に分別習慣をつけましょう。



「ミックスパーパー」や「フラ」などの張り紙で上手に分別

## 来年度中に市内全域で…

市では、平成17年度の秋ごろに市内全域で収集方法を変更する予定です。詳しくは、くは決まり次第、広報や市ホームページなどでお知らせします。

問  
資源対策課  
管理担当